

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
放課後等デイサービス ウィズ・ユウ羽曳が丘		R7 年2 月15 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	3	療育スペースと遊びのスペースを分けている	引き続き適切に保つよう心がけます。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	4	2	余剰人員をもって支援を行っています。	引き続き余剰人員をもって支援を行います。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	5	段差がある場面では、児童へのサポートを行います。トイレには手すり等があります。	バリアフリーに対応していませんが、今後対応できるよう善処します。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		清潔に保たれています。	引き続き、清掃を徹底します。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		個別の部屋を利用認められています。クールダウンができ落ち着ける空間です。	引き続き、児童のメンタルへの関心を充実させたい。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	1	5	小さい目標を提示し、達成し業務改善へと繋げている。	個別に目標設定も行っていきたい。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	ヒアリングを行い、保護者の意向を汲み取り業務改善へとつなげています。	引き続き、コミュニケーションを大切に
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		個別にヒアリングを行い、スピードをもって業務改善しています。	頻繁に面談等を行い、よりよい環境へとつなげたい。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6	外部評価はおこなっていません。今後、行いか検討をします。	より客観的な目が必要となる場面で検討し、実施したい。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	3	施設内で行う研修に限られており、順次外部の研修受講へとタイミングを図っています。	余剰人員をもって研修を行う必要があり、人材の確保を留意する。
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		適切に公表されています。	期日までに公表しています
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		作成を適切に行っている	引き続き、適切に行います。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		ミーティングの際に、児童発達支援管理責任者より読み合わせがあり、共通理解を行っている。	引き続き、行っていきます。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		行われており、共有もされている。	引き続き、行っていきます。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	様々なアセスメントを利用し、視覚からも確認できるように工夫しています。	保護者も分かりやすいツールを利用しています。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		具体的に設定されている。	引き続き、行っていきます。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		チームで行っている	引き続き、行っていきます。

	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		固定化しないように工夫している	引き続き、行っています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		個別と集団の両方を組み合わせ作成し、支援を行っています。	引き続き、行っています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		毎朝、ミーティングを行い、その日の打ち合わせを行っています。	引き続き、行っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		明朝必ず行い、ブラッシュアップ出来る様情報の共有を行っています。	引き続き、行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		記録を作成し、振り返りを行い、改善を行っています。	引き続き、行っています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		適切に行っています。	引き続き、行っています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	2	地域交流が進まないが、他の項目は組み合わせることを行っている。	地域交流の機会を設けるよう善処したい。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		自己決定をする力を育てるための支援を行っている	引き続き、行っています。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	2	こどもの状況をよく理解した者が参画している。	全ての職員が理解できる状況になれるよう、法人内での共通理解を深めたい。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		6	提携医療機関とは連携は取れているが、それ以外はとれていない。	今後、しっかり連携をとっていきたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	1	学校との情報共有等は保護者を通じて行うが、突発的な変更事項は学校より連絡が入るので、適切に行っています。	引き続き、行っています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	3	情報共有や相互理解を行う場がなく、児童のお迎え時に話を聞くやりとりがある。	今後はその場を設けられるよう善処します。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		6	まだ卒業児童がいない。	その場面になったときには、それまでの情報を提供したい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		6	連携が取れず、助言をうけられていないが、センター主催の研修会があれば参加はしている。	今後、しっかり連携をとっていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		6	地域の活動に参加する機会がない。	今後、参加できるよう検討したい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		6	積極的に参加していない	今後積極的に参加したい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		児童の状況の共通理解を深めるため、トラブルのあった児童と関係した職員が送迎を行い、保護者に直接話す機会をもうけている。	引き続き、行っています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4	重要事項のある児童より保護者と1対1もしくは1対3にてヒアリングや研修を行っています。	引き続き、行っています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1	入所前に運営規定やプログラム、利用者負担等については丁寧な説明を行っています。	引き続き、行っています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		どのような部分で育てにくさを感じるか、子どもの心配事などをヒアリングを定期的に行っています。	引き続き、行っています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		作成時、更新時共に計画書を示しながら説明を行い同意を得ています。	引き続き、行っています。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		必要な場合は面接を行い、電話等で支援を行っています。	引き続き、行っていきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		6	父母会が開催できておらず、交流が進んでいません。春より交流が可能なよう、プログラムの作成を行う予定。	家族での取り組みや保護者同士の交流の場を積極的に作れるよう善処します。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		迅速かつ丁寧に対応し、納得がいくまでヒアリングを行っています。	引き続き、行っていきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		HPやSNSの発信は行っています。	引き続き、行っていきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	1	適切に管理されています。	引き続き、行っていきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		分かりやすく情報伝達できるよう配慮しています。	今後も、引き続き、行っていきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4	地域の住民を招待する規模がなく、来ていない。	今後出来るよう善処したい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	2	訓練は行っているが、プログラムの一環として行っているので、家族への周知は活動内容となっている。	今後は特別に設けたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1	必要な訓練は行っている。	今後も引き続き行っていきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	2	4	定期的に服薬が必要な児童の把握はしています。	予防接種の把握はありません。今後予防接種やてんかんの把握が出来ずにいるので、今後積極的に把握します。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	3	医師の指示のある児童の在籍がないが、あった場合には指示書に基づき対応します。	医師の指示のある児童の在籍がないが、あった場合には指示書に基づき対応します。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	2	お出かけの際、都度に安全管理を行い、話は、職員間で共有している。けがの程度でお出かけを中止し、施設に戻ることを取り決めている。	引き続き、安全管理を徹底します。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		緊急連絡など保護者との連携は取れている。	お迎えをどうするかも含めて保護者との連携は取れている。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1	共有している。	ヒヤリハット事案がなくても、いつでも振り返りが出来るように定期的に行う必要がある。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	1	適切な対応をしている	今後も引き続き行っていきます。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	1	記載している。	今後も引き続き行っていきます。	